

カラーピーマン L3 シグナル



品種特性

- 家庭調理用使いきりサイズで、味にくせの無いカラーピーマンです。
- 赤、黄、橙色があり、2~3色組合せの袋詰め販売や、中大果の1果売りにも適します。
- パプリカよりも水分が少なく、サラダや炒め物として重宝され、店持ち性にも優れています。
- 緑果としても肉厚・ジューシーで、味良く、加熱料理に適しています。
- トウガラシマイルドモットルウイルス(PMMoV(P1.2))に対して、抵抗性(L³)があります。

公益財団法人 園芸植物育種研究所

〒270-2221 千葉県松戸市紙敷 2-5-1 Tel.047-387-3827 Fax.047-386-1455

見てキレイ！食べてオイシイ！カラーピーマン 「L3 シグナル」

- 品種の遺伝特性による奇形葉，分枝異常，帯状主枝等が発生する株があり，果実収穫が遅れることがありますので，ご理解のうえ栽培してください。



芯止まり・奇形葉



本葉の奇形葉



分枝異常



帯状主枝

栽培の要点

- 露地栽培には適しません。収穫近くにひび割れ部などから腐ったり，しなびたりします。
- 出荷量安定のためにはハウス・雨よけ栽培が必要です。
- 開花から収穫まで，高温期で 55 日，低温期で 85 日かかります。
- 収穫が始まるまで着果・肥大による株負担が増え続けます。
- 若苗定植や摘果を徹底して，初期からおう盛な株を作ることが収量安定の基本です。
- 分枝が見える程度の若苗を定植し，遅れる場合は徹底して摘果します。
- 基準は V 字 4 本仕立てです。1, 2 分枝摘果，3 分枝緑果収穫，4~6 分枝主枝 1 果，7 分枝からは主枝 1 果+側枝 1 果とします(右図参照)。側枝は 5 葉残します。
- 6~8 本仕立てや大果収穫の場合は，主枝のみに着果させ，側枝は摘果します。
- 青枯病が発生する圃場では，L³を保有する園研育成台木「台助」に接ぎ木してください。
- 果実の濡れや高温で障害果の発生が多くなります。除湿や日除けが必要です。
- カラーピーマンの収穫遅れは，商品性が無くなります。適期収穫が必要です。

